

自分の思いを試行錯誤しながら表現する生徒の育成

—おしゃべりしながら試す活動を通して—

特別研修員 美術 男沢 紗代（中学校教諭）

生徒の実態

多くの生徒が自分の思いを表現できているが、造形的な視点を基にした発想が膨らまないことや表現方法を思い付かないこともある。

教師の思い

造形的な視点に着目しながら、主題をもって発想を膨らませたり、主題にあった表現方法を試行錯誤したりしてほしい。

過程

おしゃべりしながら試す活動の設定

B鑑賞 題材「だからお札になったんだ！」葛飾北斎 『神奈川沖浪裏』



波の迫力がある！



おしゃべりしながら、波と富士山の配置を試す活動の設定



富士山を大きくしたら
波の迫力がなくなったね。



波をすごく大きくしてみた。
波が落ちる先に富士山を配置したら、自然に目がいくね。



波に対して富士山の大きさをすごく小さくしていることによって、波の迫力を際立たせているな。
また、波と富士山の配置で視線を誘導しているなどの構図の工夫に気付いた。

導入

展開

終末

成果

おしゃべりしながら試す活動を設定したことで、生徒は友達と一緒に協働的に試行錯誤しながら、造形的な視点を基に自分の考えや思いを形や色、言葉で表現することができた。

課題

おしゃべりしながら試す活動を設定する際、題材ごとに気付かせたい造形的な視点を明確にする必要があるため、引き続き研究を行っていきたい。